教　育　研　究　業　績　書

所属学科	保育学科　通信教育課程
職名・職位	准教授
氏名（フリガナ）	近藤　正子（コンドウ　マサコ）
最終学歴	奈良女子大学大学院人間文化研究科博士後期課程複合領域科学専攻博士課程満期退学
保有学位	修士（文学）
主な職歴	甲子園短期大学幼児教育保育学科（2006－2008 年） 小田原短期大学保育学科通信教育課程専任講師（2016 年） 小田原短期大学保育学科通信教育課程専任准教授（2021 年）
専門分野	健康心理学、身体表現学、幼児体育
研究テーマ	幼児間のトラブルへの保育者の介入、主体的な劇遊び指導法、実習不安を低減させる実習指導法
担当授業科目	人間関係、身体表現Ⅱ
教育研究業績	【論文】 ・「スクーリング(集中講義)の学習動機づけ－実技科目が目指す授業展開とは－(共著)」(保育を考える研究会研究紀要第 1 号・2019 年) ・「保育者に求められる身体表現力とは(2)−学生の意識調査と実技科目連携の試み-(共著)」(甲子園短期大学紀要第 26 号・2008 年) 【著書】 ・『実践につながる新しい教育・保育実習(共著)』(ミネルヴァ書房・2022 年) ・「実践につながる新しい幼児教育の方法と技術(共著)」(ミネルヴァ書房・2020 年) ・「事例と図解で学ぶ保育実践『子どもの心の育ちと人間関係』−人を育てるためのかかわりと援助−(共著)」(保育出版社・2009 年) 【その他】 ・「教育実習後の自己評価と園評価の比較－2022 年度教育実習について－(共著)(資料)」(保育を考える研究会研究紀要第 5 号・2023 年) ・「園内研修への外部講師としての関り(単著)（報告)）（保育を考える研究会研究紀要第 5 号・2023 年) ・「体育系実技科目連携に関する調査(共著)(資料)」(保育を考える研究会研究紀要第 5 号・2023 年) ・「教育実習体験後の実習に対する意識調査(単著)(研究資料)」(保育を考える研究会研究紀要第 4 号・2022 年) ・「劇作品つくりにおけるインターネット検索利用の有用性(単著)(授業研究)」(保育を考える研究会研究紀要第 3 号・2021 年)
所属学会	日本体育学会（体育心理）・大阪体育学会・日本健康心理学会 日本保育者養成教育学会
主な社会活動	認定こども園新光明池幼稚園園内研修講師・保育研究アドバイザー